

## 古巻地区

～買い物情報誌を発行しました～

古巻地区協議体では「スーパーが少ないエリアがあり、**高齢者が買い物や食事に困っているのではないか**」という話が会議に上がりました。

また、買い物支援をしている「とくし丸」や「あいのり」について構成員も存在を知らない、利用方法が分からない・・・ということが話し合いの中で分かりました。

構成員が知らない

↓  
地域の高齢者はもっと知らないのではないか・・・!



買い物情報誌を  
発行することになりました!

8月

構成員がお店や企業へ調査!  
調査票を作成し、必要な情報を聞き取りました。

10・11月

チラシの内容を確認。  
とくし丸訪問。  
構成員目線で欲しい情報が何かを話しながら修正。



12月

完成!  
古巻地区へ每户配布。

★ ★ 気になった方へお渡し可能です。  
★ ★ 担当SCへお声がけ下さい♪

## 赤城地区

困りごと調査実施!

外出時の交通手段	166
食事の支度	54
掃除・洗濯	46
ごみ出し	57
買い物	95
電球や蛍光灯の交換	58
健康不安	135
病気になった時のこと	166
介護に関すること	107
緊急時の支援	95
災害(避難等)	74
防犯(迷惑電話・訪問販売等)	88
話し相手	41
人間関係	24
その他	30

Q. 心配ごとや困りごとを  
すべて教えてください。

第1位  
「外出時の交通手段」  
「病気になった時のこと」  
第2位  
「健康不安」  
第3位  
「介護に関すること」

赤城絆の会では令和5年10月より、赤城地区全世帯の高齢者を対象に「高齢者の困りごと調査」を実施しました。自治会へ配布・回収の協力依頼をして構成員が集計したところ、配布数**3,125枚**のうち回収率は**51.7%**でした。

調査では心配ごとや困りごとの他、困ったときの相談相手や、市や社協が行っているサービス、地域での助け合いについての質問をしました。

全体としては「今は困っていないけれど**今後が不安**」といった声が多数ありました。今回の結果を基に協議体として出来ることは何か、検討を進めていきます。

## 渋川地区

～認知症サポーター養成講座の開催～

渋川えがおの会では、地域住民を対象に認知症サポーター養成講座を開催しています。令和4年11月12日の初回を皮切りに**半数以上の地区**で計10回の講座を開催し、**延べ223人**の方に受講していただき、みなさんが認知症サポーターとなっています。今後も渋川地区は「**認知症に関する理解者を増やす**」ことを目標に活動を継続していきます。

私は認知症サポーターです。



～受講者の声～

- ・わかりやすい研修で参考になった!
- ・繰り返し勉強したい。
- ・予防の重要性を認識した。
- ・寄り添う気持ちが大切だと感じた。

